

## 令和7年度 学校運営協議会（第1回）議事録

- 1 日 時 令和7年6月18日（水） 14:15～15:20
- 2 場 所 本校 会議室
- 3 参 加 者 協議会委員：地域住民、学識経験者等6名  
本校教職員：校長、教頭、事務長、首席、教務部主任、保健主事、進路指導主事

### 4 内 容

#### (1) 委員長挨拶

- ・美原高校は益々良くなっているように感じる。閉校とはとても残念なことだ。最後まで学校の運営の役に立っていけるよう、運営協議会を進めていきたい。

#### (2) 校長挨拶

- ・1学期始まってすぐに薬物乱用防止講演を実施した。昨今大阪でも薬物に関する様々な問題が出てきていることから、様々な経験もされている夜回り先生で知られている水谷さんに講演を依頼した。
- ・4月25日に万博に行ってきた。生徒たちは非常に楽しんでいるように見えた。
- ・5月1日に球技大会を学年が企画し、実施した。生徒たちに楽しい学校生活の思い出を残してほしいという思いでやっていただいた。
- ・5月30日に体育大会を実施した。天候にも恵まれたうえ、先生方に積極的に動いていただいて実施できた。3クラス75名の生徒だが、先生方には競技にも一緒に参加してもらうなど非常に盛り上がった。楽しい体育大会となった。
- ・6月12日に避難訓練があった。従来とは形を変えて、生徒には一切伝えずに突然地震が起こるという想定で避難するという形でやっていただいた。生徒たちは比較的冷静にやっていたように見えた。
- ・6月19日には防災センターで様々な体験をしに行く。昨年度は探究の授業で、様々な防災関係の取り組みをしたので集大成としていくこととしている。
- ・6月26日には性に関する講演会を実施する。少しでも性に関して知識を深めてもらいたい。

#### (3) 議 事

##### ◆ 令和6年度及び令和7年度 学校経営計画について

- ・昨年度末の第3回の内容からほとんど変更はない。前回以降で数値が確定した箇所については、若干修正した程度になっている。
- ・中期目標は、「わかる授業、魅力ある授業をめざした授業改善」と「基礎学力定着に向けた取り組みの推進」、「キャリア教育の充実と希望進路の実現」となっている。
- ・「進路を切り開く力の育成」については、題目は昨年と変わっていないが、中身は若干変えている。
- ・今年度は「指導と評価の一体化」を掲げ、まずは評価を明確にした上で、それに即した指導をしっかりとやっていく。評価に関しても修正が必要と判断される状況になれば、前向きに考えていくというような形で、PDCAサイクルを回しながら指導に取り組んでいく。

- ・評価に関しては、指標の一つとして「卒業までにつけたい力」というものを作っている。それを各教科で落とし込んでいただいたうえで、評価を作り上げていくという形にしている。
- ・少人数クラス及び授業を取り入れることで「基礎学力の定着に向けた取り組みの推進」を図っている。生徒全員で 75 名であり本来ならば 2 クラスとなるところ、3 クラスに増学級しており 1 クラス 25 人になっている。先生方の授業時数等が増えるが、先生方から生徒たちを手厚く見たいという要望もあり、ご協力をいただいている。
- ・「キャリア教育の充実と希望進路の実現」については、閉校後に卒業生が進路に関して気軽に相談する場がなくなる。そのため、今年は進路指導部を中心に手厚い指導をいただいている。保護者も認識して頂いているようで、5 月 10 日土曜日に保護者説明会を進路で実施したが、昨年より多くの方にご参加いただいた。
- ・「一人ひとりの支援体制の強化」については、従来の取り組みに加えて SC や SSW、また外部の医療機関ともきちんと連携しながら、生徒たちがこの学校を卒業し、社会に出ていくということを踏まえて慎重に対応を進めている。
- ・「規範意識、自己有用感、人権意識の醸成」についても、体育大会や文化祭などの様々な行事を通じて、少しでも自ら行事を作っていく経験を積むことで進めてほしい。
- ・「安全安心で魅力ある学校づくり」について。学校が小さくなって教員数も少なくなってくると、課題になるのが職員室で先生方がいない時間が出てくるということだった。何かあったときにすぐ教員が動けるよう、進路指導室も職員室に配置し常時先生がいる形をとっている。
- ・「地域に貢献できる人材育成」については、生徒が 3 年生になり進路面での対応についても十分に時間を取る必要があることから、今のところ時間を確保して取り組む余裕がない状況である。できるだけ時間を作って、少しでも地域の方に還元できるような力をつけてほしいと思っている。
- ・「学校力の向上と働き方改革の推進」については、本校が今まで培ってきた力をしっかりと最後の年に生徒たちに還元していくことを目標としている。生徒たちが全員卒業するとともに進路をしっかりと決めて、美原高校に来てよかったなど、力が伸びたな、というところを、しっかりと実感してもらえるような学校にしていきたいと思っている。

#### □ 協議員からの意見

- ・2 クラスということで教員数としても 2 クラス分の人員しかいない中で 3 クラス展開されていると、大変だろうと察するがどうか。  
⇒閉校に伴って加配をいただいている。本来の教員定数は 2 クラスなので 7 名だが、実際には 7 名だと、担任 2 人と分掌長などでさまざまな係りなどが全く回せなくなってしまう。また、本来業務に加えて閉校業務もあることから加配をいただいている。ただ人員はいただいているものの、単学年の学校とはいえ業務量が他校の 1/3 というわけにもいかないのが現状である。限られた人数でやりくりしているところである。
- ・どうしても進級できない生徒がいた場合はどうするのか。また、卒業後の生徒の相談窓口というものはどうなるのか。  
⇒加配もいただいております少人数で授業ができていますので、まずは手厚く、生徒一人ひとりをきちんと見ていく。経営計画の目標の指数としての中退生徒をゼロにすることを達成したい。様々な事情でやむを得ないときはあると思うが、せめて授業についていけないとか、学校が面白くないからとかいう理由でやめていくというのをなくしていきたい。卒業後の相談窓口については、統合校となる大塚高校になる。

- ・美原高校の生徒は大塚高校には面識がないが、相談窓口の体制が整っているのか。  
⇒これからの話し合いが大事になってくる。府教委とも相談が必要と考えている。子どもたちが、卒業後も安心して相談できるところがなくならないよう、不安を少しでも緩和してあげたいと思っている。まずは本校でできることは、子どもたちがしっかりと進路を決めていくことと自立していけるようにすることを大事に考え取り組んでいる。

#### ◆ 令和7年度学校教育計画について

##### ・学習活動について

- ・学習指導の方針に関しては、例年と大きく変わっていない。また国語と数学で少人数の授業を行っている。一クラス 25 人という人数なので、手厚く授業を見ているという状況になっている。
- ・昨年度から始めた基礎学力の充実（マナトレ）に関して、今年度も継続させていただいている。こちらは閉校準備委員会の方から補助をいただいてやっているものになる。昨年、基礎力診断テストで点数が大きく伸び成果が出た。今年度はさらにブラッシュアップをして、教材自体をチェックする回数を増やしたりなどした。また、昨年は基礎編に取り組んでいたが、今年度は標準編ということでレベルを一つ上げて取り組んでいる。
- ・昨年、授業改善のプロジェクトチームを発足させ、教育庁に協力をいただきながら授業改善に取り組んだ。今年も引き続き実施している。今年度は、「指導と評価の一体化」ということで、昨年決めた「卒業までに付けさせたい力」を念頭に授業作りをしていくとともに、評価も加えて研究を行っている。

##### ・部活動について

- ・運動部の休部が目立つが、3年生が引退を迎えたクラブも多かった。
- ・文化部に関してはいくつか活動を継続しており、文化祭頃までは活動を継続すると思われる。
- ・4月当初から部員数が1、2名増えたクラブもある。

##### ・生活指導部について

- ・校則については大きな変更はない。今のところ大きな問題なくスタートしている。
- ・欠席・遅刻に関しては4月5月の遅刻数は減少傾向だった。この2ヶ月の遅刻理由は体調不良による遅刻が多かった。病院に通院した後に登校したり体調が回復してから登校するという事例が多かった。昨年度に引き続き、不登校気味と思われる生徒もいる。
- ・今年度の取り組みとしては、これまで人間関係のトラブルが不登校・懲戒指導に発展するケースが多くなっていたことから、クラス開きの日に人間関係トレーニング等の時間として丸1日取った。生徒の感想からも、新しいクラスの不安が緩和されたなどの肯定的な意見が多く見られている。
- ・セーフティーバイススクール推進校に選出された。他の学校も集まって会議が行われるがそこに生徒会の生徒が参加する予定。
- ・生徒数は少なくなったが、何らかの心配事や家庭関係の問題を抱えている生徒もいるので、一人ひとりに寄り添い、丁寧な指導を心がけていきたいと考えている。

##### ・進路指導について

- ・今年度の進路指導方針については、第3学年のみということもあり「自己実現」と設定させていただいている。1・2年生の時に校内外での学校説明会や、オープンキャンパスへの参加、また保護者も含めた奨学金の説明会など、進路の目標設定に関する取り組みを行ってきたので、3年生でしっかり形にしていくということで方針を立てさせていただいている。
- ・進路希望調査（本日時点）については、就職が29名、進学が46名になっている。進学に関しては

24 名が大学・短大の希望、22 名が専門学校の希望となっている。

- ・大学短大・専門学校、就職がおよそ 3 分の 1 ずつの希望となっている。
- ・昨年度、本校から大学に進学する生徒の 9 割以上が指定校となっている。指定校以外で大学をめざす生徒が数名おり、未定となっている数字には浪人生も含まれている。
- ・昨年度一次内定率 87.5%と高い数値になった。今年度も 85%以上めざして取り組んでいきたいと思っている。
- ・今年度、本校最後となることから、全員の進路決定に向けて取り組んでいきたいと考えている。

#### □ 協議員からの意見

- ・人間関係のところで、中学校でも SNS 関連などにおいても学校外でトラブルが多く起こっており、苦労している。人間関係トレーニングではどんなことをなされているのか。

⇒例えば、自分と相手との違いを認め合うというようなワークで、自分の基準が相手の基準でないと  
知ること、自分と相手の境界線を知るようなものがある。

- ・揉めているのは違いが受けられないからで、子どもだけでなく、大人になってもそういったことはある。高校生の間にそういったことを身に付けておくことで、社会に出てからも役に立つのではないかと思う。

#### ◆学校教育自己診断について

- ・令和 7 年度学校教育自己診断アンケートは、学校自らが診断表に基づいて学校経営計画の達成度を点検するというようなアンケートになっている。今年度の実施日は 11 月 27 日を予定している。また、保護者の方にもアンケートを実施しており、11 月 27 日までに提出をお願いする。
- ・生徒と教員に関しては、一人一台端末があるので Google フォームを用いて回答してもらう。保護者の方には回答用紙を配布し、封筒に入れて回収するというものになっている。
- ・全 22 項目あり、評価指標として「よく当てはまる」、「やや当てはまる」、「あまり当てはまらない」、「全く当てはまらない」の 4 段階で評価をさせていただいている。
- ・例年との違いは体育コースがなくなったことから、体育コースや全校朝礼といった文言をなくしている。質問内容については例年と大きく変わらないことから、結果については例年と比較したものを最後の学校運営協議会で結果の報告をさせていただく。

#### ◆令和 7 年度の授業アンケートについて

- ・7 月 9 日と 12 月 15 日の 2 回の予定。
- ・4 段階での評価で、教科の観点もこれまでと同じ。
- ・教育委員会からの質問のベースを使用している形で行っている。
- ・昨年度から、教育委員会が作ったシステムを使って 1 人 1 台端末で回答している。校内で集計できるのですぐに先生方に結果を返すことができる。記入されたコメントなども先生方にフィードバックを行い、それをもとに授業を改善いただいております、12 月に第 2 回を迎えるというスケジュールになっている。

#### □ 協議員からの意見

- ・卒業までに生徒に身につけさせたい 3 つの力を生徒に周知されて生徒の反応はどうだったか。

⇒昨年、アンケートを 4 月と 12 月に取った。「自己を分析する力」や「表現する力」、「課題発見・解決能力」についての力を測るアンケートだが、後半にとった方が評価が上がっていた。

⇒授業の中身を、グループワークなどの自己表現を入れたりしているので生徒が実感できているのだろ

う。身につけたい力としてやっているなので授業はマッチしていると思う。ぜひ生徒たちが全部身につけて無事卒業してほしい。

⇒授業アンケートの中には、もう少しグループワークをやりたいとかいうような回答もあった。やはり子どもたちはグループワークを楽しんでいて、自分の考えを出してまとめたりするというのが、だんだん定着してきているという感じはある。子どもたちは意識してくれているようだ。

- ・最後の美原高校生として生徒から感じるものがあれば聞かせていただきたい。

⇒クラブ活動のように、3年生が引退してしまって公式戦に自分たちのチームで出られない。そういった点では残念に感じることもある。しかし、生徒たちを見ていると学校がなくなるというよりは日々の高校生活を楽しんでおり、自分たちがしなければならないことをしっかりと意識してやっているように見える。先生方に関しても、生徒に力をつけさせてあげたいということで、閉校に際して他の学校ではなかなかできないことを子どもたちにしてもらっているという感じはしている。

- ・食堂にも閉校準備基金の一部を充て、子どもたちが満足するように量を少しでも増やしたり、値段を下げたりしていただいている。

- ・行事でも、生徒たちに美原高校に来てよかったという思いを持ってほしいという願いで取り組んでいただいております、生徒に思いは伝わっているのではないかと考えている。

- ・入学した当時は先輩がいたが後輩が入ってこないというところで行事ができなくなってくるとか、様々な制約が出てくるだろうと正直考えていた。しかし、体育大会も人数が少ないながら盛り上がってできていたし、球技大会もすごく盛り上がってやっていたというところもあったので、行事とかに関しては思っていた以上にやっていると思っています。

- ・人数が少ない分、去年の学年もそうだったと思うが、仲はいいかと思う。

- ・人数が少なくクラブ活動ができないというようなところは残念な面ではあるが、生徒はよくやっていると感じている。

- ・授業見学を通して、これまでで一番真面目に授業に生徒さんが挑んでおられたというような印象を受けた。少人数制の授業を行ったり、体育館に空調を入れられたり、ワックスをかけられたりされており環境を整えられていると感じた。少人数授業も取り入れられ、生徒は非常にいい環境の中で授業も受けられていると思う。

これまでの先生方のご努力に感謝したいという風に思う。ぜひ、この学校を卒業してよかったなと思われるように頑張っていたきたい。また、心のケアについては就職してからも精神的に大変な思いをされる方がおられる。まず話をして緩和できるようになれば良いと思う。

- ・生徒を全員一丸で卒業させてあげたいという思いが分かった。それに対して生徒たちも勉強したいというふうにやってくるということだと思うので、このままの状態頑張って続けていただけたら、と思う。

- ・初めて参加させていただいた。微力ながら PTA として協力していきたい。

## 6. 閉会挨拶（校長）

- ・本校最後の年ということで、残り 10 ヶ月程度だが、教員ともどもしっかりと学校を盛り上げて、少しでも子どもたちのために頑張っていきたいと思っている。

今後とも何かお気づきのことなどあれば連絡いただければと思う。